

「長唄と日本舞踊で見る 須磨の伝説」

～未来へつなぐ～

一、長唄組曲「須磨」

長唄 東音松浦 麻矢連中
三味線 杵屋 勝九郎連中
囃子 藤舎 清鷹連中

須磨にまつわる長唄メドレー
長唄にある須磨の昔の様子や伝説の
数々を唄います。

一、日本舞踊と和楽器のお話

日本舞踊の所作、三味線・小鼓・大鼓・太鼓・笛などを
楽しく分かりやすく解説します。

一、長唄「供奴」

演奏 須磨こども長唄

主人のお伴に遅れた奴が、主人の真似や
種々の所作をして主人を探し回る、という
華やかで軽快な曲を子供達が唄い奏でます。

一、日本舞踊「浜松風」より

立方 藤間 晃妃

長唄 東音松浦 麻矢連中
三味線 杵屋 勝九郎連中
囃子 藤舎 清鷹連中

須磨の浜辺、行平を慕う松風が
乗り移った小藤（海女）の汐汲む
姿を描く、おおらかで古風な
歌舞伎舞踊です。

場 所：須磨区文化センター 4階 大ホール

日 時：2023年10月15日(日) 開場13:00 開演13:30

入場料：前売1,800円 当日2,100円 友の会1,500円

チケット予約・販売&お問合せ：須磨区文化センター 2F事務所 ☎078-735-7641

長唄と日本舞踊で見る

須磨の伝説

〜未来へつなぐ〜

〈プログラム〉

長唄組曲「須磨」

〈唄〉

東音松浦 麻矢

稀音家 温季

杵屋 輝久世

〈三味線〉

杵屋 勝九郎

松永 和三絃野

松永 和三絃季

〈囃子〉

藤舎 伝生

藤舎 清鷹

中村 寿鶴

中村 寿慶

日本舞踊と和楽器のお話

日本舞踊 藤間 晃妃

三味線 杵屋 勝九郎

囃子 藤舎 清鷹・藤舎 伝生

中村 寿鶴・中村 寿慶

長唄「供奴」

須磨「こども長唄」

〈賛助出演〉三味線 杵屋 勝九郎

囃子 藤舎 清鷹連中

日本舞踊「浜松風」より

〈立方〉

藤間 晃妃

東音松浦 麻矢

稀音家 温季

杵屋 輝久世

〈三味線〉

杵屋 勝九郎

松永 和三絃野

松永 和三絃季

〈囃子〉

藤舎 清鷹連中

〈司会〉小池 弘三 管長

〈主な出演者〉

〈長唄〉 東音松浦 麻矢



東京藝術大学邦楽科長唄専攻卒業。
関西を中心に演奏活動をし、小中学校での体験授業の講師など、邦楽普及にも積極的に取り組んでいる。
平成31年より祇園甲部「都をどり」の立唄を務める。
神戸市文化奨励賞、
兵庫アーティストサロン賞受賞。
第三期兵庫県芸術文化振興ビジョン検討委員会委員。
一門の会「松耀会」主宰。

〈日本舞踊〉 藤間 晃妃



藤間流師範。
日本舞踊教室・藤の妃会を主宰。
古典や歌舞伎舞踊を探究し、
神戸を中心に舞台活動をしながら、
教室やワークショップでは日本舞踊の
普及・継承に力を注ぐ。
兵庫県舞踊文化協会理事。
兵庫県芸術奨励賞受賞。

〈三味線〉 杵屋 勝九郎



長唄杵勝会 長唄三味線方。
長唄三味線を二代目杵屋勝七郎師に師事、
令和二年「二代目 杵屋勝九郎」を襲名。
長唄「ひろき会」「喜楽会」主宰。
立命館中学校・高等学校にて三味線を教授。
京都創生座同人。
公益財団法人京都市芸術文化協会会員。
令和三年度京都市芸術文化協会賞受賞
(伝統芸能)

〈囃子〉 藤舎 清鷹



1966年藤舎呂鏡の長男として生まれる。
祖父は望月喜之助。
6歳で五世藤舎流家元藤舎せい子に、
東京藝術大学邦楽科在学中より
六世藤舎呂船に師事。
平成元年清鷹の名を許される。
歌舞伎、舞踊会、演奏会等で古典を
中心に演奏活動を行う。
鏡音會主宰。

〈須磨こども長唄〉



須磨寺塔頭・櫻壽院と須磨のお母さん方が子ども達に日本文化を学んでもらいたいと結成した団体。
日本の伝統音楽である長唄を楽しみながら学ぶことで日本語や着物の良さを体感し、また地域の幅広い年代との交流をしている子供中心の長唄の会。

〈司会〉 小池 弘三



須磨寺貫主。
一絃須磨琴保存会会長。
須磨寺落語会席亭。
須磨の歴史や伝説が日本の古典芸能で、
どのように描かれているかに興味を持ち、
その意を汲んだ各種芸能の専門家による
公演の司会進行を、長年務めている。

場 所：須磨区文化センター 4階 大ホール

日 時：2023年10月15日(日) 開場13:00 開演13:30

入場料：前売1,800円 当日2,100円 友の会1,500円

チケット予約・販売 & お問い合わせ：須磨区文化センター 2F事務所
神戸市須磨区中島町1丁目2-3 ☎078-735-7641

